バンドパスフィルタ・2150–2550 MHz

信号タイミングの評価には、遅延変動の上限 1 ns を用いてください。2000 MHz を超える周波数では、マイクロ波用多層基板の開口部への埋め込み実装は禁止です。

RF 特性

項目	値
通過帯域	2150–2550 MHz
通過帯域内挿入損失 [1]	≤ 2.0 dB
通過帯域内リップル [1]	≤ 1.0 dB
帯域外減衰量 · DC–1600 MHz	≥ 60 dBc
帯域外減衰量 · 1600–1850 MHz	≥ 30 dBc
帯域外減衰量 · 2890–3000 MHz	≥ 30 dBc
帯域外減衰量 · 3000–5500 MHz	≥ 60 dBc
VSWR [1]	≤ 1.50
遅延変動	≤ 1 ns

[1] 2150–2550 MHz

設計定格 設計保証

項目	値
許容電力	2 W
動作温度	−40…+70 °C
保存温度	−55…+85 °C

機械仕様

項目	値
RF 端子	マイクロストリップ用丸ピン、Ø0.38 mm
RF インピーダンス	50 Ω
表面処理	銀めっき
筐体寸法	25 × 13 × 5.5 mm (RFピンの突出部を除く)
取付穴	M2 貫通ねじ穴 4 個 (穴の中心間隔 20.5 × 8.5 mm)
筐体角部半径	1 mm

実装と取扱い

製品表面を清掃する際は、フィルタを洗浄液に浸さないでください。 ユニット全体の温度が 125 °C を超える場合は、ご注文前にご相談ください。 2000 MHz を超える周波数では、マイクロ波用多層基板の開口部にフィルタを埋め込んで実装しないでください。 ピンの軸は最も近い広い面から 2 mm の位置にあり、幅 13 mm の筐体の中心にそろっています。 2 本の RF ピンは筐体の相対する端面にあります。4 個の取り付け穴は筐体の四隅に長方形に配置されています。

文書に関する注意

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。